

令和5年度

# 認知症サポート医の活動等 に関する実態調査について

島根県健康福祉部 高齢者福祉課  
地域包括ケア推進室



「しまねの地域包括ケア」ポータルサイト開設



QRコード  
携帯電話で  
ホームページに  
アクセスできます。

# 島根県内の認知症サポート医（※ 敬称略）

R5. 3月末現在 123名（累計養成数146名）

- ※ 赤字の医師はR4年度新規養成者
- ※ 青字の医師はR3年度新規養成者
- ※ 紫色の医師はR2年度新規養成者
- ※ 市町村名は所属医療機関所在地



- 隠岐の島町 (2)**  
有田茂夫・加藤一朗 <隠岐病院>
- 西ノ島町 (1)**  
福田瑤子 <隠岐島前病院>
- 海士町 (1)**  
木田川利行 <海士診療所>

- 益田市 (8)**  
坪内健・藤木僚 <松ヶ丘病院>  
木谷光博 <益田赤十字病院>  
金島新一 <金島胃腸科外科>  
大森治樹 <石見クリニック>  
篠崎克也 <さくらクリニック>  
井上貴雄 <あすかクリニック>  
松本祐二 <松本医院>
- 津和野町 (1)**  
飯島献一 <津和野共存病院>
- 吉賀町 (3)**  
小笠原康二 <小笠原医院>  
谷浦博之 <六日市病院>  
松浦寿一 <松浦内科胃腸科>

- 浜田市 (11)**  
中村慎一 <中村医院>  
田中新一 <心療内科田中クリニック>  
彌重博巳 <彌重内科眼科医院>  
沖田浩一 <沖田内科医院>  
松本貴久・荒木正人 <西川病院>  
北條宣政・井上幸哉 <浜田医療センター>  
笠田守 <笠田医院>  
小池昌弘 <小池医院>  
佐藤誠 <浜田市国民健康保険弥栄診療所>
- 江津市 (5)**  
中澤芳夫・堀江裕 <済生会江津総合病院>  
山崎一成 <山崎病院>  
花田有二 <花田医院>  
花田昌也 <花田クリニック>

- 出雲市 (24)**  
高橋幸男 <エスポアール出雲クリニック>  
深田倍行 <深田医院>  
土谷治久 <佐田診療所>  
安部哲史・長濱道治・長井篤・金井由貴枝  
錦織光 <島根大学医学部附属病院>  
石橋和樹・小田川誠治・重柄慎典 <島根県立中央病院>
- 白澤 明・濱田智津子 <出雲総合医療センター>  
山本大介 <出雲徳州会病院>  
金森 隆 <斐川生協病院>  
山崎俊樹 <あいあいクリニック>  
河野公範 <海星病院>  
津村弘人 <つむらファミリークリニック>  
石川厚 <石川脳神経内科医院>  
豊田元哉 <とよだ内科頭痛クリニック>  
高尾碧 <こころの医療センター>  
松崎太志 <まつざきクリニック>  
小林祥也 <小林病院>  
園山隆之 <園山医院>

- 大田市 (6)**  
岡田和悟 <大田シルバークリニック>  
梅枝伸行 <うめがえ内科クリニック>  
安田英彰・笠木真人 <石東病院>  
山形真吾 <大田総合医育成センター>  
福田理子 <大田市立病院>
- 川本町 (2)**  
加藤節司・山口拓也 <加藤病院>
- 美郷町 (1)**  
秦憲明 <秦クリニック>
- 邑南町 (5)**  
河野圭一 <河野医院>  
高橋亮吏 <星ヶ丘クリニック>  
周藤由紀美 <三笠記念クリニック>  
酒井和久・上田智広 <邑智病院>

- 松江市 (33)**  
櫻井照久・福田賢司・高村睦代  
石川美保 <こなんホスピタル>  
細田真司 <こころの診療所細田クリニック>  
松嶋永治 <まつしま脳神経内科クリニック>  
妹尾晴夫・柴田昌洋・百瀬勇・宮岡剛  
清水予旨子 <松江青葉病院>  
吉岡志津枝 <吉岡医院>  
杉谷美代子 <いんべ杉谷内科小児科醫院>  
内藤篤 <松江記念病院>  
萬代恵治 <松江刑務所>  
松本和也 <入澤クリニック>  
下山良二・中島健二・古和久典・  
深田育代 <松江医療センター>  
野津立秋 <野津医院>  
泉 明夫 <泉胃腸科医院>  
伊達伸也 <東部島根医療福祉センター>  
坂之上史・田野俊平 <鹿島病院>  
岡崎哲也 <八雲病院>  
戸田稔子 <松江生協病院>  
田中廣貴 <たなか脳神経内科>  
笠木重人 <笠木医院>  
小松和久 <小松クリニック>  
奥田亮 <奥田クリニック>  
佐々木亮 <もちだの郷>  
山田顕士 <松江市国民健康保険来待診療所>

- 雲南市 (5)**  
今岡大輔 <奥出雲コスモ病院>  
前木奈津美・大谷順・永瀬正樹 <雲南市立病院>  
小黒浩明 <平成記念病院>
- 奥出雲町 (2)**  
山根冠児 <永生クリニック>  
遠藤健史 <奥出雲町立病院>
- 飯南町 (1)**  
松本賢治 <飯南病院>

- 安来市 (12)**  
新田則之 <昌寿苑>  
野坂啓介 <野坂医院>  
片山征爾・竹下久由  
ト蔵浩和・鎌田佳代子  
江原真理子・小村文明  
角 暁美・新宮左和子  
河崎雄司 <安来第一病院>  
杉原徳郎 <杉原クリニック>

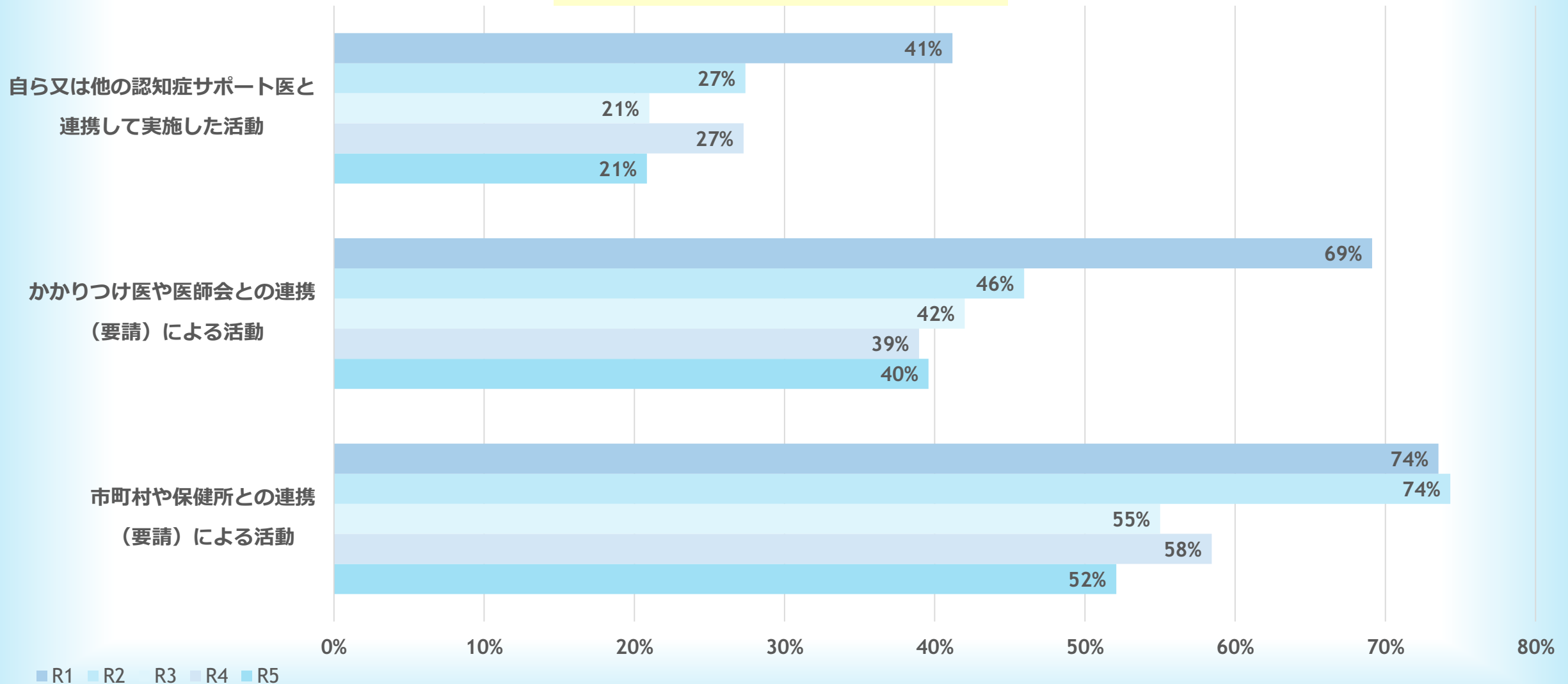
※ 認知症サポート医への相談や協力依頼など、本来の目的以外での名簿の使用はご遠慮ください

# 調査概要

1. 調査時期 令和5年5～8月
2. 調査方法 Web調査  
(しまね電子申請サービス)
3. 対象者 123名 (県内サポート医数)
4. 回答者 96名 (回答率：78%)

# 結果 1 これまでの活動について

## 活動したことがある人の割合



# 結果 1 これまでの活動について

## 市町村や保健所との連携（要請）による活動

地域ケア会議・事例検討会へ参加

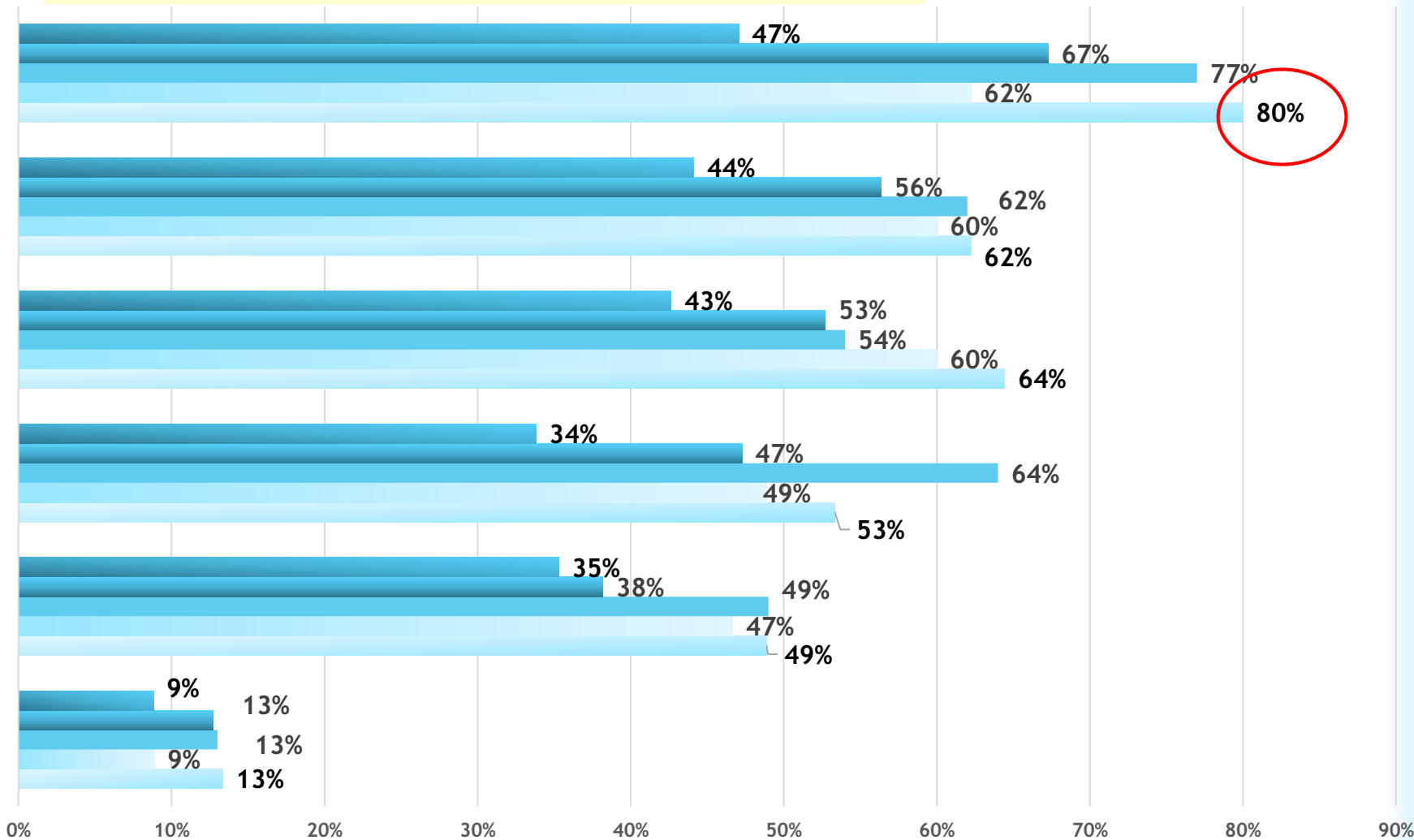
検討会、ネットワーク会議、協議会等の委員

講演会の講師

個別の事例について対応の相談に応じる

認知症初期集中支援チームのチーム員

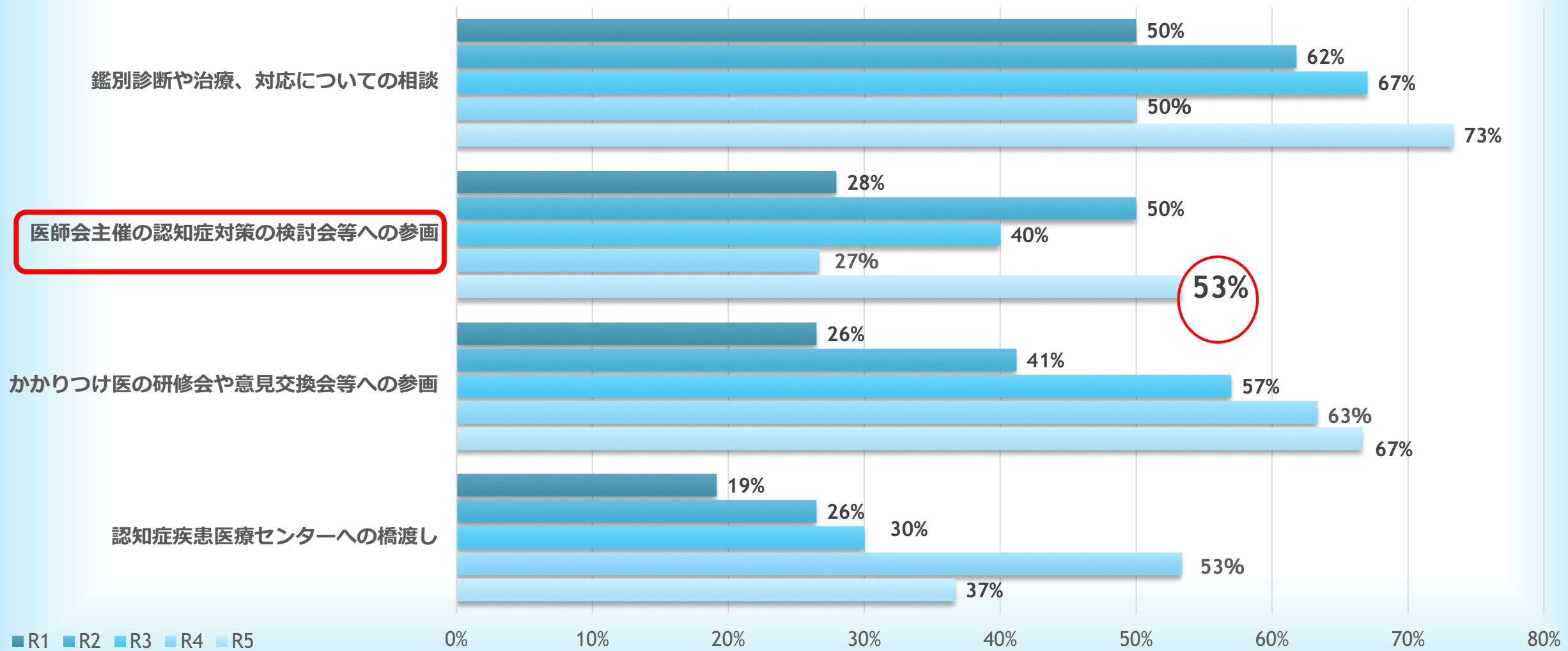
認知症ケアパス作成委員会の委員



■ R1 ■ R2 ■ R3 ■ R4 ■ R5

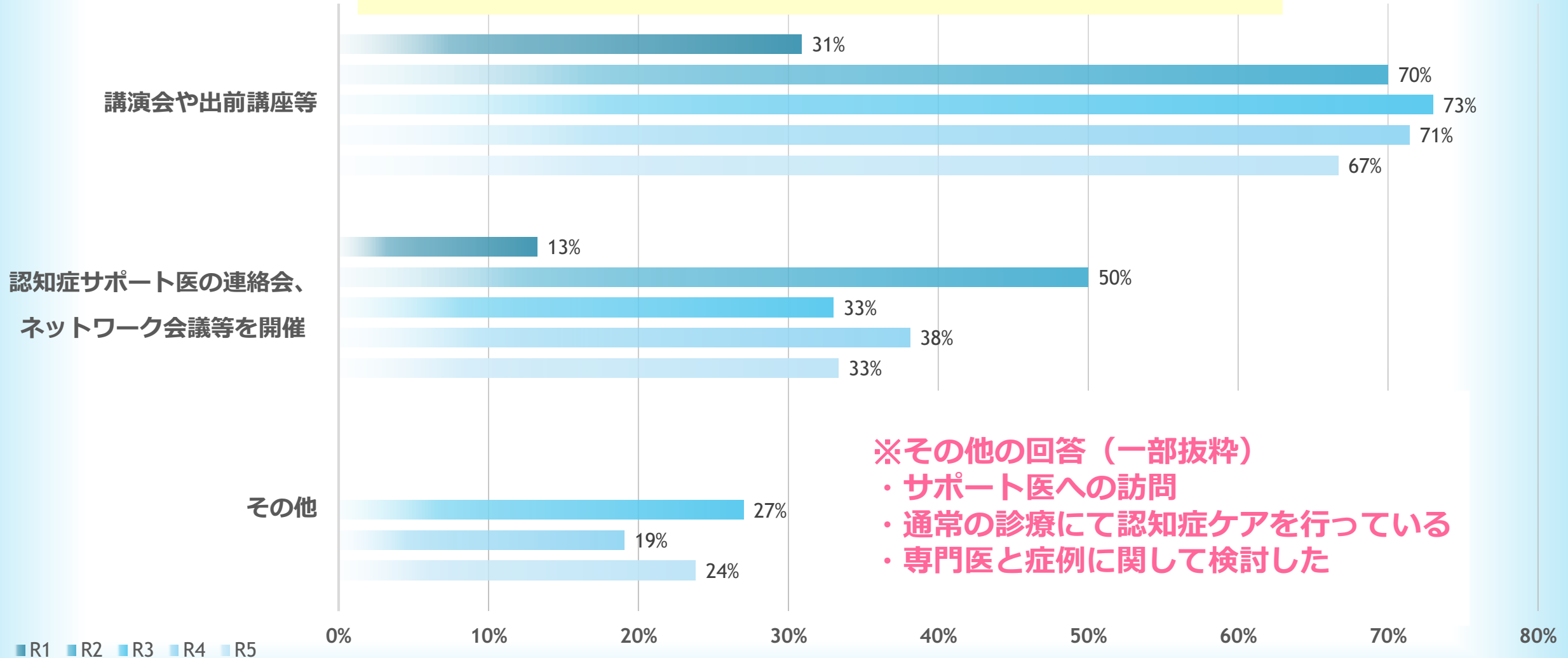
# 結果 1 これまでの活動について

## かかりつけ医や医師会との連携（要請）による活動



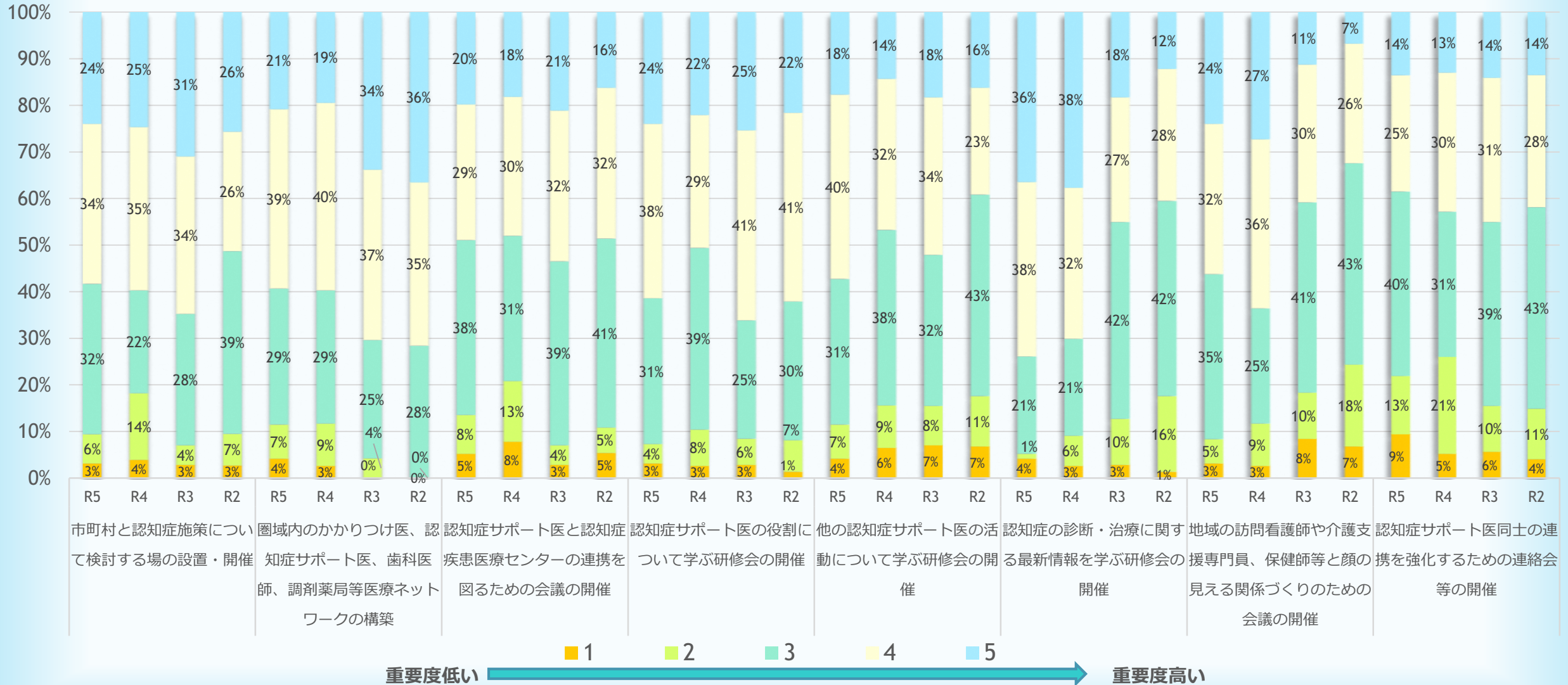
# 結果 1 これまでの活動について

## 自ら又は他の認知症サポート医と連携で実施した活動



# 結果 2 今後の活動について

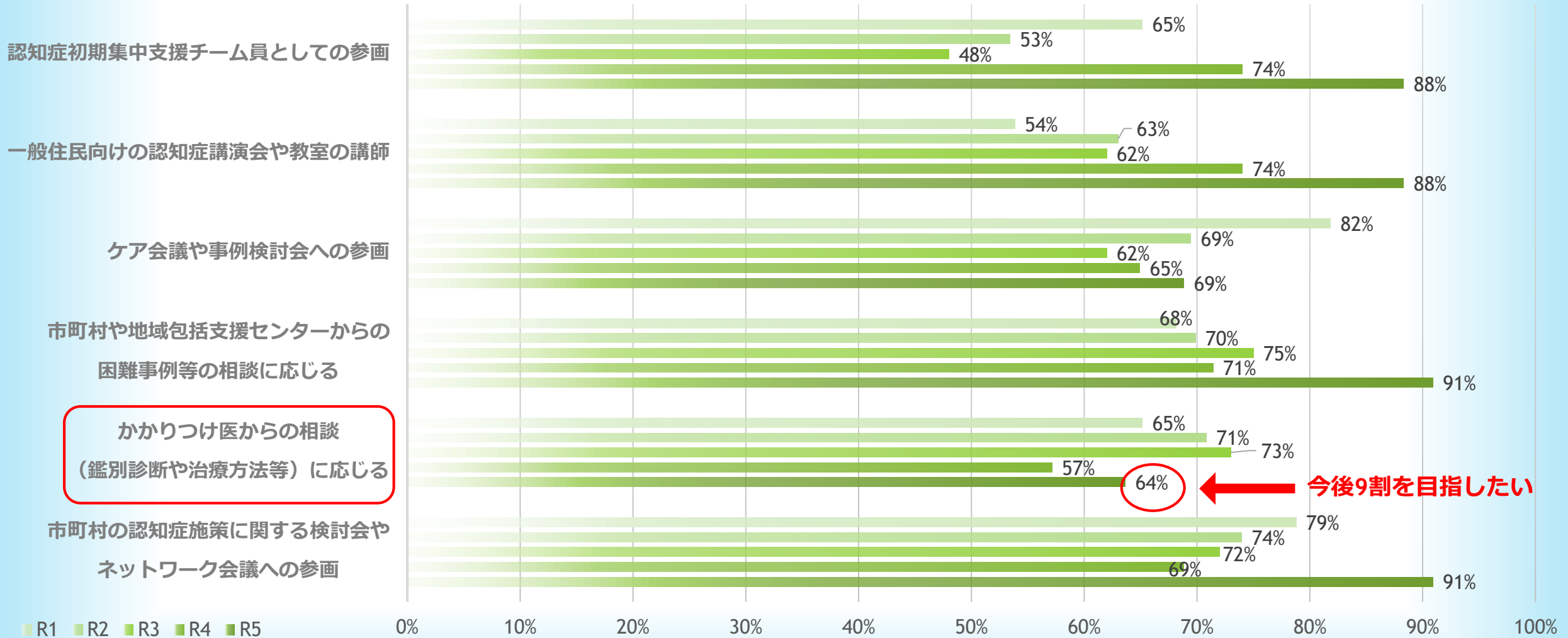
## 今後活動する上で必要と思う事柄





# 結果2 今後の活動について

## 今後活動したい・できると思う人



## 結果2 今後の活動について

### 活動が難しい主な理由

- ① 専門的な知識や経験が不足している
- ② 日々の業務に追われ、担当する患者のケアでサポート医としての活動が難しい、院内の業務調整が難しいなど
- ③ 認知症の診断、治療に自信が持てないので精神科医に相談した方がよいと考える、専門性が高いケースには対応が難しいなど
- ④ 診断に必要な検査機器など設備が十分でない
- ⑤ 個別の事案は対応できるが、包括的な活動は困難である

※アンケート結果より一部抜粋

# 主な自由意見

- ▶ ①すべての医師がサポート医となり、患者やその家族に関わることができるが良い
- ▶ ②超高齢化社会となり、地域との連携が重要である。また、一般の方にも認知症に関して理解してもらうためにも気軽な相談窓口となりたい
- ▶ ③サポート医として意識はしておらず、開業医として対応できることを行っている
- ▶ ④我が町は広域であり診療所間の距離があるため、かかりつけ医＝サポート医という認識している
- ▶ ⑤BPSDの対応が知りたい。また、ケースワークの形で個別の症例への対応方法を増やしたい
- ▶ ⑥介護士、看護師を対象に研修会を設けてほしい
- ▶ ⑦行政がどのように関わってきたのか知りたい

※アンケート結果より一部抜粋

# ま と め

- ・サポート医として活動したことがある人の割合は概ね前年同様の結果であったが、その活動内容に関しては変化が見られた。まず、市町村をはじめ行政機関からの要請で地域との連携会議、事例検討会議への参加は前年より約1.3倍増加。加えて、医師会等に依頼される形で検討会へ参加する場合も前年より2倍増加し、かかりつけ医等からの相談も同様に増加傾向にあることからサポート医の存在が大きいことが見てとれる。また、行政、医師会等との連携による活動は例年多少の増減は見られるが、多くのサポート医が積極的に対外的活動を行っていることが分かる
- ・回答者の多くが認知症診断・治療に係る最新情報を加えた研修を希望している。専門性の高い知識や技術、経験を求められる場合もあることから、かかりつけ医等からの相談に応じることが困難なサポート医もいるのが現状である。また、サポート医の役割認識に係る研修等を重視している回答も多くあった。一方で、「精神科以外の認知症サポート医の存在意義はあるのか」、「このままサポート医を増やして、果たして機能するのか」、「サポート医は増えているが、認知症治療または医療連携等に関して大きな変化は感じない」という厳しい意見もみられた
- ・多数のサポート医がケアマネージャーや保健師、看護師など、認知症支援に携わる専門職種、加えて認知症疾患医療センターとの連携を重要視しており、それらに係る会議や意見交換会を必要としている。また、9割以上の回答者が行政機関との認知症施策に係る会議等への参加も重要視しており、市町村や地域包括支援センター等からの相談に応じるという積極的な意見が多かった。自治体や専門機関、医療従事者等との連携づくりはサポート医の役割上必須であるため、市町村の連携体制を構築していく必要がある
- ・認知症患者の意思確認が困難な場合、かかりつけ医とサポート医が連携することで、本人以外から生活状況や課題、服薬等の情報を把握可能となり、治療・対応に関し患者本人や家族からの満足度が上がる。しかしながら、調査の結果をみると、かかりつけ医からの相談に応じる活動をしたいと考えているサポート医の割合が6割程度に留まっている。今後、サポート医に対してかかりつけ医の連携の重要性について周知を図っていくと共に、連携の推進役として更なる活動の活発化を求めたい

# 今後に向けて

## 資質向上・役割認識

### 【認知症研修会、サポート医フォローアップ研修、情報交換会の開催】

- ◆ 研修開催を認知症患者に関わる従事者全般に周知し、誰もが認知症ケアに関する専門知識を持てるようにし、早期発見・早期治療に繋げる
- ◆ 困難事例、対応例、また診断や治療に係る最新情報を盛り込み、現場のニーズを反映した研修内容を提供
- ◆ 現場での日々の困り感を軽減することを目的とし、他サポート医と情報共有を行える機会を積極的に設ける

## 地域・医療・介護の連携

### 【保健所・各市町村行政機関、他医療機関との検討会、ネットワーク会議等の開催】

- ◆ 行政や地域、また他医療機関、薬局等と医療ネットワークを構築し、質の高い医療提供を可能にする
- ◆ 介護士やケアマネージャー、看護師等多職種と連携することでスムーズな患者対応を行う

### 【地域等への情報発信】

- ◆ 地域住民への普及啓発を目的とし、講演会等を通じ、認知症に関する情報発信を行い住民の協力・意識の醸成を図る

## 令和5年度 取り組み状況

- 5/25 「認知症疾患医療センター連絡会」 島根県高齢者福祉課
- 7/8 「浜田圏域認知症サポート医研修会・連絡会」 社会医療法人清和会西川病院・浜田保健所
- 7/30 「認知症研修会/認知症サポート医フォローアップ研修」 島根大学医学部付属病院認知症疾患医療センター・島根県高齢者福祉課
- 8/31 「益田圏域認知症支援懇話会」 社会医療法人正光会 松ヶ丘病院・益田保健所
- 10/3 「認知症対応力向上研修（益田会場）」社会医療法人正光会 松ヶ丘病院・島根県高齢者福祉課
- 11/16 「認知症サポート医連絡会（益田圏域）」 益田保健所
- 12/9 「認知症対応力向上研修（浜田会場）」社会医療法人清和会 西川病院・島根県高齢者福祉課
- 12/16 「認知症対応力向上研修（安来会場）」社会医療法人昌林会 安来第一病院・島根県高齢者福祉課
- 令和6 1/28 「認知症地域医療連携会議・認知症サポート医フォローアップ研修」 島根大学医学部付属病院認知症疾患医療センター・島根県高齢者福祉課
- 2/8 「認知症ネットワーク会議（益田圏域）」 益田保健所